折尾變其



2014年 6月

3号 Vol. 81

News Letter

学園聖句: 「光の子らしく歩きなさい」

(エペソ人への手紙5章8節)

〒807-0861 福岡県北九州市八幡西区堀川町12番10号 TEL 093-602-2100(代表) FAX 093-692-5690 E-mail:info@orioaishin.ac.jp

URL:http//www.orioaishin.ac.jp/

建学の精神 EST. 1935 (昭和 10年)

- ・キリスト教に基づく人格教育を行います。
- ・専門教科による職業教育を行い、有能な人材を育成します。
- ・自主独立の精神を養います。
- ・国際交流による国際理解教育を行います。

普通科

|特進コース |普通コース

保育コース

一貫コー

看護科

看護科

看護専攻科

商業科

商業コース

美容専科

製菓衛生師コース

健康福祉コース

介護実習壮行会

5月30日(金)、2,3年生の介護実習を前に壮行会がありました。実習生代表の松本 亜緒羽さん(2年)と時永美波さん(3年)は、「利用者さんができるだけ自立して生活できるような援助を心掛けたい」と、抱負を述べ実習への意欲が現れていました。そして、授業で習ったことを実践する重要な体験が6月2日(月)~13日(金)までの2週間、6施設で実施されました。



製菓衛生師コース

辻調理専門学校特別授業

5月29日(木)、3年生対象に辻調理専門学校グループの特別授業がありました。今回は、エコール辻大阪製菓マスターカレッジより、筒井一夫先生をお迎えし、「Éclair aux franboise」エクレールオフランボワーズと云う洋菓子の制作を学びました





Éclair aux franboise



指導中の 筒井先生

創作ロールケーキコンテスト 2014

6月1日(日)、ロールケーキの日(6日)を前に リバーウォーク北九州にて「創作ロールケーキコンテスト2014」が行われ、3年生と1年生がそれぞれ3位と5位に入賞しました。「未来」をテーマにしたこの企画は今年で2回目、本校生徒の独創的な発想に対して特別に会場賞もいただきました。今後の活躍が期待されます。





和菓子実習

指導中の名越一幸先生





6月2日(月)~4日(水)までの3日間、2年生が和菓子実習に臨みました。講師には、例年ご指導していただいている門司の「なごし」店主の名越一幸先生をお迎えし、創作菓子や代表的な饅頭を作りました。

美容専科コース

第14回校内コンクール

6月7日(土)、第14回校内コンクールが行われ日頃の実習成果を披露していました。生徒たちは、学年により25分、30分の制限時間内にロッドを巻くワインディングという競技に挑みました。国家試験本番さながらの雰囲気に1年生は圧倒されていました。また、接客7大用語の唱和では先輩方の姿勢や発声にも感動していました。結果は右の表の通りです。





3年生					2年生		
1位	永石	夏希さん	日の里中学	1位	高橋	彩さん	思永中学
2位	外野	優香さん	枝光台中学	2位	高林	杏実さん	桂川中学
3位	西野	優花さん	柳西中学	3位	伊崎	美恵香さん	横代中学
					伊藤	茜さん	沖田中学

学校見学会のご案内

- ・学校紹介
- ・入試相談
- 体験授業
- •入試対策 他

第1回 7月12日 (土)

第2回

9月20日(土)

第3回 10月11日 (土)

第4回 11月15日 (土)

「草創期の黒田藩と栗山大善」遠賀川④

遠賀川は古代から重要な水路として、流域住民の交流に、生 活物資の移動に大きな役割を果たしてきました。古代から江戸 時代にかけて、この遠賀川は流域住民の生活物資の輸送や人々 の移動に大きな役割をはたしてきただろうことは容易に想像 されます。明治以降石炭産業が盛んな時代になってからは、石 炭を満載した五平舟がこの遠賀川を行き来していました。 最盛 期は一日凡そ360艘の五平太舟が、田川・嘉飯・直方地帯か らこの遠賀川を下流し、中間から堀川に入り、洞海湾に出て若 松港まで、行き来していたと云います。遠賀川で帆を張った五 平太舟が多数点在して石炭を運送する長閑な風景は、一幅の絵 だったと思います。魏志倭人伝のなかに不弥国という国が出て きます。この国(は筑前の国、那の津、博多付近))から東行 して不弥国(ふみこく、筑前の国、糟屋郡の宇美町付近か、ま たは、筑前の国、飯塚市付近か)にいたるとあります。飯塚は 穂波川と遠賀川が合流する地理的条件に恵まれている地点で、 古代から文化が発祥、さらに発展してきた地域だろうことは想 像されます。遠賀川の河口域に芦屋町が開けています。江戸時 代は「芦屋千軒」と云われて、港町で大変賑わっていました。 この芦屋は古代の岡の津と云って神武天皇の東征の祈り、神功 皇后の熊襲征伐・三韓出兵の祈りなど、立ち寄られたとも考え られています。岡湊神社が歴史を伝えているように推考されま す。

小田弘之著書「草創期の黒田藩と栗山大善」より